

# 楠 だより

偶数月発行  
NO.11 H21.8.25  
発行責任者：病院長  
編集：広報委員会

## 目次

診療科から 肝臓がんの最先端治療 ..... 1  
七夕 星への祈り ..... 2  
ストロンチウム治療 ..... 2  
健康レシピ 第3回 血糖値が気になる方の食事 ..... 3  
健康手帳（2）コンタクトレンズ ..... 4

### 診療科から

## 肝臓がんの最先端治療

### ～生体肝移植・経皮的肝灌流（PIHP）～

肝胆膵外科

肝胆膵外科は、その名の通り、「肝臓」、「胆道」、「すい臓」の**がん**を中心とした治療をしています。これらの手術は難しく、専門的な技術がなければできません。

今回は、肝臓がんの治療についてご紹介します。肝胆膵外科は普通の治療法に加え、さらに生体肝移植と経皮的肝灌流（PIHP）という2つの進んだ医療を行っています。

#### 1) 生体肝移植

肝がんでは、比較的癌が進んでいない肝硬変の方に肝移植を行うことができます（図1参照）。現在まで成功率は92%ととても良好で、社会復帰される方がたくさんおられます。ウイルス肝炎がある方では、せっかく移植しても肝炎が再発することがありますが、私たちは日本では行われていなかった移植後の肝炎薬物療法を導入するなど、良い成績をあげています。

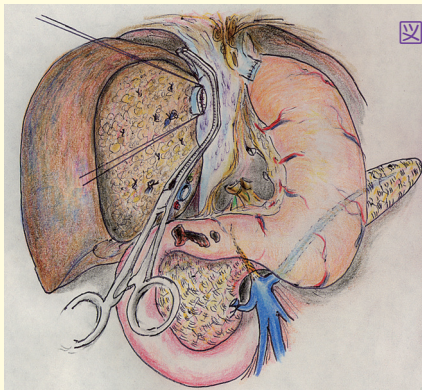


図1（肝臓）

#### 2) 経皮的肝灌流（PIHP）

肝胆膵外科が独自に開発し、約20年の実績を積み重ね、世界的にも高く評価されている治療法です。この方法では通常の数倍もの抗がん剤を肝臓に注入してがん細胞を死滅させ、体に害のある抗がん剤は肝臓からでた後に活性炭フィルターで取り除き、きれいな血液だけを体内に戻します（図2・3参照）。つまり副作用を抑えながら肝臓だけに大量の抗がん

剤を注入できるのです。肝切除と組み合わせ、他施設では治療できない進行癌でもかなりの生存が可能となっており、この治療を求めて国内外50以上の病院から患者さんの紹介をうけています。

この他、3年前より兵庫県粒子線医療センターと協力し、重粒子線治療を導入し、治療の幅をさらに広げています。

このように、当科では他院にはない幅広くかつ最先端の選択肢の中から、病状や希望に応じて最善の治療を行えるようになっていきます。これらの治療についてさらに詳しいお話を聞かれない方は、ご遠慮なく肝胆膵外科までご相談ください。



図2

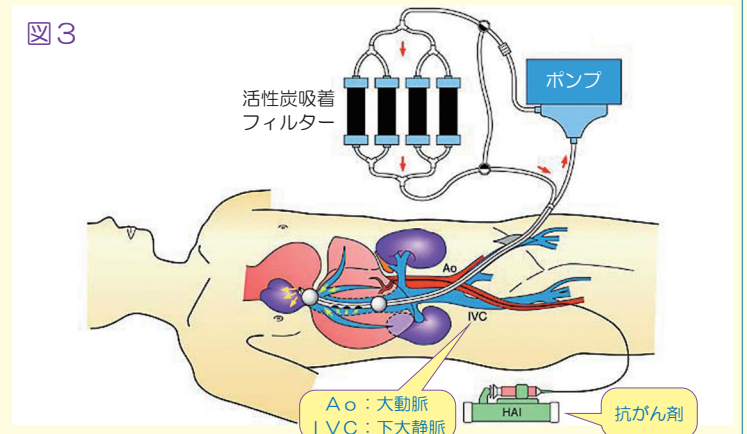


図3

禁煙
にご協力を

## ★ 星への祈り ★ ～短冊いろいろ～

七夕の星祭りもあっという間に終わり、夕暮れの風と虫の音が心に染みいる季節になってきました。

先日当院の七夕祭りで飾られました短冊の中から、ユニークで素敵な願い事を紹介させていただきます。まずはこちらから



**インスリン様、食後はちゃんと出て。お願い♡**

当院に飾られた短冊の願い事で最も多かったのは、病気がよくなるように、健康を取り戻せるようにという祈りでした。皆さまの健康回復・保持・増進の願いもどうか届きますように。この方のインスリンもちゃんと出てくれるといいですね。

**パパとずっと仲良くできますように  
お姉ちゃんが早く退院できますように  
そしてお姉ちゃんと旅行に行けますように**

家族が仲良くいられることを願った短冊もたくさん見られました。中にはこんな短冊も…。

**Sちゃんがかいじゅうと仲良しになれますように**

かいじゅうも仲良くなればお友達(?)なのでしょうか。Sちゃん、かいじゅうとも仲良くなれるといいですね。



当院の医師も星に願い事をされていましたので、ご紹介いたします。

**論文が通って無事大学院が卒業できますように**

先生の切実な願い事ですね。きっと努力は報われます。そしていい先生になってください。応援していますね。

**中性脂肪が減りますように**

先生も人の子。生活習慣が原因でしょうか？身体にも変化が出てきたようですね…。みんなの健康を守る先生だけ、先生の身体も心配です。どうかご自愛くださいませ。

最後に紹介するのはこんな願い事。

**私の心が毎日きれいでありますように  
人にやさしくいられますように**

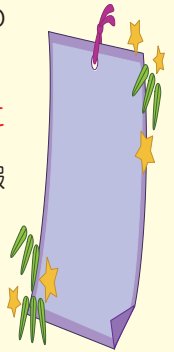
このお願い事を書いたのはどんな方なのでしょう？この短冊を読んだ私の気持ちもすがすがしくなりました。人としてこのようにありたいものです。

今年準備した短冊は約一千枚で、そのすべてに願い事が書かれ、笹に飾られました。皆さまが書いてくださった短冊は7月8日、八宮神社に奉納いたしました。

短冊は、炎となって天高く舞い上がっていきました。皆さまの願いも天に届いたことと思います。

来年も、七夕祭りを行いたいと思います。

楽しみにお待ちしております。



## がんの骨転移に対するストロンチウム治療始まる

### はじめに

ストロンチウム治療はメタストロン注（一般名：塩化ストロンチウム（<sup>89</sup>Sr））というお薬を静脈から投与します。

これは、がんの骨転移による疼痛の緩和を目的とした治療用の放射性医薬品です。このお薬は、ストロンチウム-89という放射線を出す物質（アイソトープ）を含んでおり、骨の成分であるカルシウムと同じように骨に集まりやすく、集まった部位で放射線を放つことにより痛みがやわらぐと考えられています。

**質問1** どのようなお薬？

**回答** このお薬は、がんの骨転移による骨の痛みをやわらげるための注射用のお薬です。

お薬が効いた患者さんにおいては、通常注射の1～2週間後から痛みがやわらぎます。

なお、このお薬はあくまで骨の痛みをやわらげることを目的としており、がんや転移そのものの治療が目的ではないことをあらかじめご理解ください。

**質問2** このお薬と放射線治療はどちらがうの？

**回答** ストロンチウム-89による治療も、放射線を利用す

る点で放射線治療の一種です。

通常の放射線では、体の外から骨転移部位放射線を照射する外部照射という方法をとりますが、このお薬は骨の転移病巣に集積して、全身に広がった骨転移部位に内部から放射線が当たることによって痛みがやわらぐと考えられています。

どちらの放射線治療も基本的には入院の必要はありませんが、このお薬の治療は一回の注射で済み、3ヵ月間隔を空けることで、何度でも投与可能です。

**質問3** どのような副作用がありますか？

**回答** 血小板や白血球、赤血球が治療前に比べて減少することがあります。多くの場合、経過観察で問題なく再び増加してきますが、減少が著しい場合には必要に応じ適切な処置が必要となります。このようなことから注射前と注射後には定期的に血液検査を行う必要があります。



**放射線腫瘍科にご相談下さい**

健康レシピシリーズ  
第3回 血糖値が気になる方の食事  
(味覚の秋編)



朝晩が涼しくなり食欲が増してくる季節になりますね。運動会や遠足など行楽弁当にも大活躍なのは炊き込みごはん！

でも炊き込みごはんは、ついもりもり食べてしまうと炭水化物の摂りすぎになって血糖値が上がってしまいます。

そこで今回は、ダイエットもかねて安心して美味しくいただける秋の味覚の代表選手、きのこの炊き込みごはんを紹介いたします。きのこは低エネルギーで食物繊維を多く含む食材です。

右下の写真をご覧ください！この2つのお茶碗のエネルギーはなんと、同じなんです。

ヒミツはこんにゃく米を白米に混ぜ込んでいることで、食物繊維も通常の白ごはんの約20倍含まれていますので、食後の血糖値を緩やかにすることに加え、お腹も気持ちも満たされる「究極のきのこごはん」です。

(こんにゃく米はスーパー等の米売場にあります。種類がわかりにくい場合、管理栄養士にご相談ください。)

究極のきのこごはん

★食欲の秋、きのこの香りを楽しみたくて、きのこ以外は一切入れないプレーンなきのこごはんです。ゆっくりよくかみしめて食べてみてくださいネ！

材料（約3人分）

- ・白米……………1合
- ・こんにゃく米……………75g
- ・お好みのきのこ……………200g  
(しめじ、しいたけ、まいたけなど)

調味料

- ・だし汁（カップ1）……………200g
- ・しょうゆ（大さじ1）……………18g
- ・酒（大さじ1）……………15g
- ・みりん（小さじ1）……………6g
- ・塩（小さじ1/4弱）……………1g



計量の単位は、カップ1=200ml,  
大さじ1=15ml, 小さじ1=5ml

手前のきのこごはん320gは奥の白ごはん200gと同じエネルギーです。(写真のお茶碗のサイズは両方とも同じです。)

つくり方

1. しいたけは石づきを取って薄切りにし、しめじ・まいたけなどは石づきを取り小房に分けます。
2. 米を研いで炊飯器にいれ、調味料と水を加え2合の水加減にしてひと混ぜし、きのこを上のにのせて炊きます。
3. 炊き上がったら、きのこをムラなく全体に混ぜます。
4. ふだんの1.6倍量でよそいます。

〔例：ごはん150g→きのこごはん240g,  
ごはん200g→きのこごはん320g〕

※きのこごはんを通常のごはん量でよそうと、ごはん150gで約100kcal、ごはん200gで約130kcalのエネルギーがカットできます。

写真のきのこごはん320g  
エネルギー…329kcal  
たんぱく質……………8g  
脂質……………2g  
炭水化物……………70g  
食物繊維……………13g  
食塩相当量……………1.5g

(参考) 白ごはん200g  
エネルギー…336kcal  
たんぱく質……………5g  
脂質……………1g  
炭水化物……………74g  
食物繊維……………1g  
食塩相当量……………0g

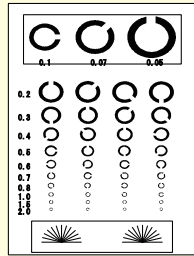
- ・きのこはサッと焼くかだし汁と調味料でサッと煮てから炊くというひと手間をかけると、より香り高いきのこごはんになります。
- ・お好みで油揚げ1/2枚(10g)を加えて炊いたり、炊き上がりに三つ葉や線切りの大葉、柚子皮を添えても美味しいですよ。

食事・栄養についてのご相談は、月～金曜日に予約制で行っています。お気軽に医師、看護師、管理栄養士にお申し出ください。

栄養相談に関する問い合わせ先：神戸大学医学部附属病院 栄養管理部 (078) 382-5262 (直通)

健康手帳 (2)

コンタクトレンズに気をつけて



眼科の急病診療をしていますと、とても多くみられるのがコンタクトレンズのトラブルです。使ったことのある方は何かしら症状を感じたことがあると思います。日本で1500万人を超える方が使っていますが、本当に安全なものでしょうか？

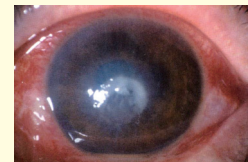
コンタクトレンズは薬事法で「適正に使用しても副作用等が生じた場合に、生命及び健康に重大な影響を与えるリスクがある高度管理医療機器」とされています。つまり、ちゃんと使っていても、病気が出てきてしまう可能性があるし、最悪、失明することさえある！…ということなのです。まして、ちゃんと使わなかったらどうなるか…。

特に重大なのが**角膜潰瘍**（かくまくかいよう）です。レンズによって角膜（黒目）の表面にキズができ、細菌やカ

ビが入って、潰瘍を起こします。この病気はとても治りにくく、治っても濁りや視力低下が残ります。また、汚れた水や土の中にいる微生物のアメーバが起こす**角膜潰瘍**も増加しており、特効薬がないため更に重大な障害を残します。

コンタクトレンズによる快適な視力を守っていくために、説明書を良く守り、以下のことに十分気を付けましょう。

- ▶眼科医の検査、処方を受けて購入しましょう
- ▶決められた装用時間や装用方法を守りましょう
- ▶適切なレンズケアをきちんと行いましょう
- ▶レンズケースは、常に清潔な状態を保ちましょう
- ▶目の健康を守るために、定期検査を受けましょう



写真は細菌に感染した角膜です。

コンタクトレンズは

眼科に相談を

第2回 神戸大学医学部附属病院  
美容医療市民講座  
日時：平成21年10月31日（土）10：30～12：30  
場所：神戸大学医学部附属病院 神緑会館

しみ、たるみについての講演。ビデオデモも予定しています。  
※参加は予約制です。  
申し込みは 美容外科 078-382-5822（美容外科直通）  
詳細は美容外科ホームページで [www.med.kobe-u.ac.jp/cosme](http://www.med.kobe-u.ac.jp/cosme)

がん患者さん向け情報コーナー

第一病棟2階にある患者支援センター、がん相談室および医療の質・安全管理部前に、がん患者さん向けにパンフレットや書籍を用意しております。ぜひご利用ください。



忘れ物、落とし物は  
6番窓口でお預かりしています。内線3075



病院の基本理念

1. 患者中心の医療の実践
2. 人間性豊かな医療人の育成
3. 高度先進医療の開発と推進
4. 災害救急医療の拠点活動
5. 医療を通じた国際貢献

神戸大学医学部附属病院

〒650-0017 神戸市中央区楠町7丁目5番2号  
電話〔078〕382-5111（代表）  
ホームページ <http://www.hosp.kobe-u.ac.jp/>  
ご意見、ご感想をお願いします。  
FAX：(078)382-5050